



2008/09 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報

第 2186 回例会 2008 年 10 月 1 日(水) SAA / 三木会員 会報担当 / 三宅会員

例会会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535



点 鐘 市原 RC 会長 藤谷泰弘
 ソング 君が代 奉仕の理想
 お客様 市原市観光協会理事 管家啓一様
会長挨拶 市原 RC 会長 藤谷泰弘



みなさんこんにちは。

管家様、お出でくださりありがとうございます。管家様には、急に卓話のお願いを致しました。にも拘らず、快くお引き受け頂きまして誠にありがとうございます。後ほど、千葉県観光についてお話をいただきます。千葉県は観光立県を打ち出していますが、日本中どの都道府県も実は観光客には大勢来て貰いたいと思っている筈です。いってみれば、日本中がライバルな訳ですから、ならば、どうしたらの示唆に富んだお話しを拝聴出来ることを楽しみにしております。きっと、他の業種の方にも大いに参考になると思います。宜しくお願い致します。

次に 9 月 20 日、ロータリー情報セミナー、9 月 25 日、職業奉仕セミナーへ参加くださった皆様、ありがとうございました。

訃報のお知らせです。習志野 RC 渡邊隆 P G がご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

幹事報告 幹事 小川長二



結婚・誕生祝

結婚祝い

川島会員、浜田会員、齋藤(博)会員、山崎会員
 千葉会員、羽良会員、常澄会員、高野会員、行木会員
 山本会員、西村(芳)会員、万崎会員、三宅会員

誕生祝い

川島会員、三木会員、白鳥会員、佐藤(政)会員
 千葉会員、泉水会員、高澤会員

委員会報告

岡本新世代育成委員

インターアクトの韓国研修(9/26~29)で市原中央高校の生徒 2 名、鈴木さんと吉本さんが無事帰国しました。成田空港に迎えに行ったところ二人とも非常にいい顔をして帰って来ました。後日感想文を報告致します。

篠田親睦委員長

10/8(水)移動例会の件 9 時に五井 GH 出発です。
 11/19~20 柏崎視察研修を東京電力さんのご協力で計画中です。スケジュールの確認をお願い致します。

蔵内会員

「天晴君に心臓移植手術を 募金のご協力をお願いします」というパンフレット配らせて頂きました。天晴君は 13 歳で、中学 2 年生です。アメリカで手術を受けるのに 1 億円はかかるそうです。皆様の温かいご支援とご協力をお願い致します。

川島会員

当初、酒枝先生に「老人と健康」ということでお話をして頂く予定でしたが、検査をしたら 1 週間ほど入院をされるようになりましたので、急遽、無理を言って管家さんをお願いを致しました。

- ・ 例会時間変更 10/29(水) 18 時 ~ 五井 GH にて
 「楽友協会の演奏を聴きながら夕食例会」



「千葉県の観光」

ご紹介に預かりました市原市観光協会の菅家啓一様でございます。

東京で、全国でいろいろ活動をしている仲間の方が集まったシンポジウムに参加してきました。その中でユニークな講師の方がいらっしゃいまして、湯布院の観光協会の会長で40歳すぎの女性です。おそらく40代女性で観光協会の会長というのは全国でも特異な存在であると思います。多々勉強になる話を聞いてきましたので、その話も含めましてお話させて頂きたいと思っております。

観光について、私は市原で観光は難しいと何度か申し上げてきました。町おこしでコンサルタントが市原を回って、開口一番「ダメですねえ」と言った、なぜかと聞くと、静岡と同じで豊かだと言う。「豊なところは、難しいって」。観光関係でいろんな話を伺いましたが、講師の方が一応に言うのは豊かさの、あるところ観光はダメと言う事でした。なぜ市原が豊か、というのは皆さんご存知の通りです。市内の知人が店を辞めますって言う。次何やるのって聞いたら、家を壊して駐車場にするとする。何かしようという気力と心がないくづく思いました。

高齢化の人口減少のなかで、東京のみ人口減少は免れるが、首都圏においてはここ10年20年減少傾向で行くでしょう首都圏、近畿圏も含めて人口が密集しているところは、人口減少対策のトレーニングをされていないということです。北海道、九州はトレーニング中でされていると言う事です。豊かで人口の増えてきた地区は人口減少が起こった場合、知恵と工夫とトレーニングがなされていない。市原では今、加茂地区の人口が減少しています。地区では市民病院が診療所に変わり。学校は統合され。養老溪谷の花火は中止、全てが、やめる方向です。せめて高滝の花火だけは存続してほしいと願っています。

観光というのは地域起こしの産業です。現在、観光経済ベースで見た場合、どのようにお金が動くか評価するのは難しい事です。

市原市において一つの数値的なポイントとして、ゴルフ利用税が有ります。交付金として、平成3年度に10億7千万。昨年平成19年度は7億4千万に減りました。今後は人口減少によりゴルフ利用税も厳しい状況に追い込まれると考えます。千葉県に韓国の観光会社関係者が来訪。私も、その関係者と夜ホテルで会食を致しました。彼らはプレー費以外何も関係ないのです。安ければいい。羽田に着いて午後八時やって、翌日フルにやって、その翌日午後帰るならまだしも午前中プレーをするという。

韓国からゴルフ観光客を呼ぶと言う話も料金の問題でかなり無理があるのではと思います。市原は東京から多くのゴルファーがきます。他の地域に比べれば裕福なのです。私は普段から市原市には非常に資源があるよと言っております。その通りだと思いますが、環境が徐々に変わりつつあるということも考えて頂きたいと思っております。ひとつは市原から東京までだいたい1時間、東海道というと茅ヶ崎、藤沢辺りの感覚です。昔は横須賀線、東海道線とも全て東京駅であったものが、現在は渋谷、新宿、池袋経由で北関東に行っています。当初は本数も少なく、グリーン車もなかったのですが現在は本数も増えました。人口の動線が新宿方面に移動したと言う事でしょう。同様の理由で市原市の交通の利便性が薄らいでくる可能性があるのではないのでしょうか。

過日、笠間のほうに行ってお参りました。笠間市では十坪くらいの土地にコテージを建て(50件程度)年間40万円程度で週末滞在型農家として貸し出し好評を得ています。笠間市、茨城県、埼玉県、はその後背地に上越、東北が有ります。国の人は言っています、千葉の道路の先はどこだと。ハワイだと言うのです。それは困るのです、従って他に比べると半島性という厳しさを持っていると思います。今、各省庁で種々動こうとしています。それは農工商連携です、そこで色々な動きがあります。先週は3日間ほど筑波の研修に参加してまいりました。全国の方々とコミュニケーションをさせて頂きました。やはり地方の方々は生きるか死ぬかの活発な議論をやってらっしゃいますが

残念ながら所得が少ない、職場がない、そういう中で
の頑張りを痛切に感じてきました。国のほうも省庁毎
にやっていた事項を垣根を低くしてやっていこうとし
ています。話題として今年からモデルケースで、小学
校5年生を対象として、全国で農家体験をするという
プログラムがスタートしました。平成24年には全国
120万の生徒さんに農家を体験してもらうことになり
ます。それが市原とか千葉に来るのか判りませんが。

次に市原には観光資源がないと言われますが、そん
な事は無いのです、身近にあると気づかずに過ごして
しまいがちですが、2,3気がつくままにご紹介をし
ます。

日経新聞の日経産業遺産ウォーキングガイドの中で
養老川西広板羽目堰が、観光考古学シンポジウムで国
立歴史民族博物館教授の資料で宇治の平等院と並んで
市原市の国分寺尼寺の写真が掲載されています。私も
ゴルフ場で観光について話せ、ということで行きまし
た。市原にはこんな素晴らしいものが有ると資料と共
に紹介しました。決して市原市の財産は無いという事
はありません。工場群も産業観光ということでありま
す。自分が持っている財産をいかにアピールしていく
かということだと思えます。

秩父に芝桜で有名な場所があります、読売新聞にカ
ラーで載りました、素晴らしい風景に興味を持ち5月
に行ってみました。考えていたものとは大分差があっ
たような気がします。結局写真の撮り方ひとつでお客
を呼べるのです。ただし、この種のはリピーター
を望む事が大変かと思えます、秩父の市長も観光協会
のシンポジウムで30分間延々とこの次をどうしよう
かと一生懸命考えていらっしやることを話しました。
常に新しい動機付けを考える必要があるのです。と同
時に観光というものは、地域に根ざして皆様方が持続
的に安定した少なからず所得というものが得られるよ
うな形のをやっぱりやっていかなければいけない
のかなと感じます。地域に住んでいらっしやる方々が、
いろいろな面で協力していかななくては、また努力して
いかななくてはと思うのです。よそもの、若者、馬鹿者
といいますが、私は馬鹿者が必要であるとおもいます。
それに物事を牽引していくコーディネイターが必要で
はないかと思っています。

最近会った国の役人、県の方もいろいろなNPOと
か地域ボランティアに入って活躍しています。私は市
原市の多くの職員も、もっと地域に入ってもらう事を
期待しています。これからはトップダウンというの
は、地域起こしにはなかなか難しいと思われま
す。やはり地域の皆様が納得して進めていく事が大切か
と思います。

大山千枚田の事例を紹介します。(家作り体験講座)
ある団体が約20~30坪の家を基礎工事から大工の仕
事まで、土壁を塗ったりする講座に20人ばかりが、
集まりました。埼玉、東京、神奈川から申し込みがあ
り。授業料は20万です。でも20万も出して交通費
かけても面白さがあるのです。自分のところに観光資
源がないと言いながら、考えれば身近なところに沢山
の資源があるのです。市原市は上から下まで約40キ
ロ近くあります。小湊鉄道で約1時間。これだけの物
を持っている地域というのはそうないと思えます。で
すから他市では二つ三つ合わさなければ出来ないこ
とを市原市では出来ます。そういう意味では市原市は
これからいろんな面で活性化していくことが出来る
と考えています。

最後に、厚生労働省が後期高齢者制度という言葉
を使いますが、その「後期」という言葉の中にい
ろんなものがございまして、ひとつは「公器」です。そ
れから「光輝」、もあります。私は後期というのは「好
きな機会」と書いて「好機」、つまり好機高齢者なのだ
と思えます。良い意味での好機高齢者になっていただ
くことをお望みまして私の話とさせていただきます。

ニコニコ・ソーリーボックス

齋藤博会員

過日の地区職業奉仕委員会主催のセミナーには会
長幹事様をはじめ多数の会員の方々のご臨席を賜
り誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。

西村美和子会員

本日、菅家さん卓話ありがとうございました。会津
出身である菅家さんが市原の為に御尽力下さり感
謝しています。

岩田天晴くんへの募金は38,716円集まりました。
ご協力ありがとうございました。